

事前申込不要
参加費無料

定員450名（当日先着順）
どなたでも参加できます。



ひとり暮らしでも 住み慣れた地域で 在宅療養できますか

2010年から2030年にかけて、千葉県内のひとり暮らし高齢者数は
1.7倍の33万人に増加すると見込まれています。

「医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域・住まいで安心して暮らしたい。」

この願いは実現できるのでしょうか。

市民の皆さんとサービス提供者が一緒になって考えたいと思います。

日時・会場

平成26年 **1月26日** 日 12:30開場
13:00-15:45

千葉市文化センター アートホール

千葉県千葉市中央区中央2-5-1

（ＪＲ千葉駅から徒歩約10分、千葉都市モノレール葭川公園駅から徒歩約3分）

プログラム

■ **基調講演** 13:00-14:30



撮影：岡戸雅樹

最期まで家にいたい

講師：上野千鶴子

社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授・
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長
専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な
理論家のひとり。近年は高齢者の介護問題に関わっている。

「上野千鶴子が聞く 小笠原文雄、ひとり家で死ぬますか？」
上野千鶴子・小笠原文雄 著
（朝日新聞出版）



在宅緩和ケアで朗らかに生きよう ～おひとり様でも大丈夫～

講師：小笠原文雄

医師・日本在宅ホスピス協会会長・（医）聖徳会小笠原内科理事長兼院長
名古屋大学医学部卒業後、同大第二内科医員等を経て小笠原内科を開業。
臨床以外にも、医学教育や研究、ラジオ放送枠も持ち幅広く活躍している。

■ **体験発表とパネルディスカッション** 14:45-15:45

ひとり暮らしでも住み慣れた地域で在宅療養できますか

パネリスト：上野千鶴子／小笠原文雄／石橋美知恵（訪問看護ステーションあすか）／
横山美智子（千葉県介護福祉士会・ムツミ居宅介護支援事業所）／患者家族

主催・
お問合せ先



千葉大学医学部附属病院 千葉県寄附研究部門高齢社会医療政策研究部

〒260-8677 千葉市中央区玄鼻1-8-1 電話 043-222-7171（内線6667）

ホームページ <http://www.ho.chiba-u.ac.jp/hpas/>

千葉県在宅ネットワーク

ホームページ <http://zaitaku-net.jimdo.com/>